

「お茶の間」は、  
新しい言葉を知る  
私の小さな国語のじゅ業。

家族がわかる野球の話。  
ほくのエラーを家族は楽しく  
「ヒット」にかえる。

しょうぎやろう、竹ぶえ作ろう、  
ナイフでえん筆けずるのもじいじ  
が教えてくれたんだ。

兄弟でチャンネル奪い合っ  
た夕ご飯。だけどけっきょく父の一言  
「ニュースにしろ」

あのね、あのね、おはなししたい  
ことがたくさんあるよ。  
ばばままねえねじゅんびOK!?

人づくりの土台は、「お茶の間」にあります。誕生から、子育てやしつけなど、人としての在り方を「お茶の間」で学ぶところから出発します。そして、学校や地域、社会に出て、多くの人とのかかわりから学び、また「お茶の間」に戻って安らぎやこころざしが生まれていきます。「お茶の間」は家族が集い、語り、学び、伝え、そして育むところ。お茶どころ掛川に住んでいる私たちは、「お茶の間」を今こそにぎやかにして、家族の団らんから生まれる財産をもとに、豊かな広がりのある人づくりにつなげていきます。

ここに私たちは、我が家の「お茶の間」づくりを広げていくことを宣言します。

平成26年1月12日宣言



我が家のお茶の間宣言

子育て・人づくりは お茶の間から

世界農業遺産「茶草場農法」のまち



「東山の茶畑と粟ヶ岳」

# かけがわ お茶の間宣言

子どもたちの未来のために  
今私たちができること



ほく3さい。ほくがわらえば  
かぞくもえがお。

「お茶の間」は、家族と一緒に  
楽しさ2倍悲しさ半分

インターネットを使わずに、  
おじいちゃんおばあちゃんに  
聞いてみよう!!

家に着いて玄関をあける。  
「ただいま。今日ね…」とさっそく  
近況報告発表会。

弟とけんかはするけれど、だいすきだ。  
こんどこそやさしくするぞ、でもけんか。

みんなが笑うと私も笑う。  
私が笑うとみんなも笑う。  
笑顔でつながるコミュニケーション。

お茶の間で 心豊かな子に育ち 親とないて  
子を育て 改めて知る親の深い愛

市民から集めたお茶の間宣言 第2弾(12点) 平成28年11月19日